香南市の忠霊塔紹介

戦後81年 平和への願いを未来へ

8月15日は終戦の日です。戦争を経験した世代が少なくなる中、戦争の記憶や平和への願いを次の世代へ語り継いでいくことが、ますます重要になっています。

香南市には、戦没者の御霊（みたま）を慰め、その功績を後世に伝えるための忠霊塔が建立されています。忠霊塔は、戦争によって失われた尊い命に思いを寄せる場であるとともに、私たちが平和への尊さを改めて考える場でもあります。

ここでは、市内の忠霊塔の歴史や現状をご紹介します。

【問い合わせ】福祉事務所　☎57-8509／高知県地域福祉政策課　☎088-823-9662

赤岡忠霊塔

赤岡

日露戦争から
太平洋戦争に至る戦没者

入口の石碑には「皆さん英霊に感謝し黙祷を願ひます赤岡出身戦没勇士忠魂墓地昭和十四年十二月赤岡町軍友會」、背面に28名の名前が刻まれています。昭和32年秋に建立されました。

吉川忠霊塔

吉川

日露戦争・支那事変・大東亜戦争戦没者

昭和56年に村民他414名の寄付により完成しました。碑文には戦没者145名の名前が刻まれています。そのそばには76の柱石が並んでいます。

野市忠霊塔

野市

大東亜戦争までの戦没者

旧野市町が主体となり、香宗・富家・佐古地区の遺骨も納骨堂に安置しました。忠魂碑は戦争終結後、進駐軍の命令で埋められていたものを掘り起こして現在の場所に移したそうです。合祀（ごうし）者数（しゃすう）は438柱となっています。昭和30年３月に建立されました。

夜須忠魂碑

夜須

日清日露戦争の戦没者

昭和35年ごろに、むつみ会・遺族会・一般町民・町が一丸となり「夜須町忠霊殿期成同盟会」によって建立されました。

佐古忠魂碑

野市

日清日露戦争・日支事変・大東亜戦争の戦没者

香南市立佐古小学校の西にある山の上にあり、昭和28年３月に建立されました。
碑には「日支事変大東亜戦為陣没者」の文字が刻まれています。

富家忠魂碑

野市

日清日露戦争の戦没者

森田村塾の東側に隣接し、大正３年の３月に建立されました。

徳王子慰霊塔

香我美

太平洋戦争までの戦没者

若一王子宮の境内にあり、徳王子遺族会によって昭和56年11月に建立されました。

香宗忠霊塔

野市

日露戦争・太平洋戦争の戦没者

香宗城跡の北西約50ｍの敷地にあり、昭和土地有志・遺族会によって昭和41年に建立されました。日露戦争５名・太平洋戦争51名が祀られています。

山北忠魂碑

香我美

日清日露戦争の戦没者

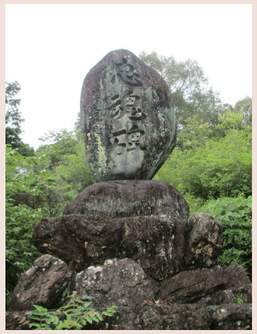
県内でもあまり例のない日清戦争に関する石碑で、明治38年10月に建立されました。敷地内には、「討清戦勝紀念碑」があり、碑の後ろにある碑文は"西森真太郎"という人の作で、山北村出身の11人の兵士の活躍が詳細に書かれています。「忠魂社」「殉国之碑」があります。

岸本忠魂碑

香我美

詳細は不明
（日清日露戦争の戦没者か）

旧岸本小学校の敷地内にあり、「出征軍人戦病没者」の碑（建立年不明）と、「岸本地区戦没者之碑」（昭和63年12月建立）があります。



東川忠魂碑

香我美

日清日露戦争の戦没者

東川公民館の北側にある山道を登った先の敷地内に忠魂碑が建立（建立時期不明）されています。

山南忠霊塔

香我美

太平洋戦争までの戦没者

敷地内には、日清戦争の勲等功級者13名の名前が刻まれた「山南紀功碑」（明治30年建立）と、日露戦争の勲等功級者40名と戦没者11名の名前が刻まれた「日露戦争記念碑」（明治45年１月建立）があります。

西川忠霊塔

香我美

太平洋戦争までの戦没者

中西川の君子方神社の境内東に建立されており、慰霊之塔建設委員会によって昭和60年に建立されました。

※建立時期や旧町村により文章の表現が異なります

忠霊塔は、戦没者の御霊に哀悼の誠を捧げるとともに、今日の平和と豊かな暮らしが、多くの尊い犠牲の上に築かれていることを改めて心に刻む大切な場所です。ご遺族の高齢化が進み、時代とともに戦争を知る人も少なくなっていますが、この忠霊塔を通じて先人への感謝と平和への願いを次の世代へ受け継ぎ、戦争の記憶を風化させることなく語り継いでいきたいと願っています。

香南市戦没者遺族会連合会
会長　竹村暢文